

# スマイリング Smiling

思いをカタチに とみに創る 笑顔の学校

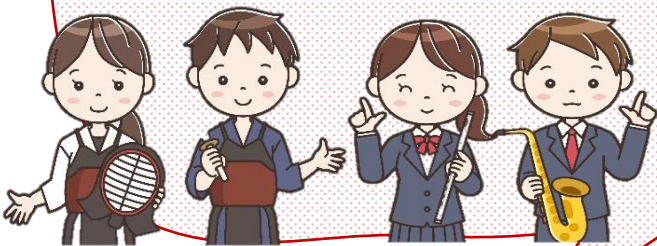
## 土日の部活動は地域が主体となります

公立中学校の運動部の在り方を検討してきたスポーツ庁の有識者会議は、休日の部活動運営主体を地域や民間など学校外の団体・機関にゆだねる「地域移行」の提言をまとめました。三川町にとっては、中学校の部活動だけに限らず、スポーツ少年団活動や、子どもの活動意欲に関わることとなり、どのような環境を築いていくかが課題となっています。

学校運営協議会では、休日の部活動の地域移行について、これからも委員の方々と意見交換をしていきながら熟議を深めてまいります。

### こんな部活動に期待… 小6年生の声

- イラストや絵・写真など文化部がほしい。
- eスポーツの環境がほしい。
- スポ少と連携した部活動にしてほしい。
- もっと早く中学校にどんな部活動があるか知りたい。
- 今やっている習い事を継続したい。
- 河川敷や公園にバスケットコートがほしい。
- 三川中の部活動に文化部が少ない。
- 仲間と楽しく活動できる部活であってほしい。
- 指導者の人数を増やしてほしい。



子どもの声を聞きながら・・・(写真は東郷小)

### 中学校の部活動が抱える課題

- 生徒数の減少と「多様性」による変化
  - 生徒数の減少は部活動存続の危機
  - 多様な志向による部活動離れ  
(他校との合同チーム増加)  
(校外スポーツクラブへの加入)  
(eスポーツや文化芸術への関心移行)
- 地域指導者不足と指導者への待遇
  - 地域指導者の育成  
(長期的に務めざるを得ない傾向)
  - ボランティア的指導者待遇  
(指導者個人負担の増加)
- 教師への過剰な負担(働き方改革)
  - 土日も部活動に参加し休みがない。  
(土日に大会が入る)
  - 平日、部活後に校務をこなす。  
(勤務時間の大幅超過)
  - 部活動顧問としての精神的負担  
(経験がない競技の顧問)

## 第2回学校運営協議会で話題になったこと（各小中学校が会場）

### 横山っ子ネットワーク協議会



- ・コロナ禍の中、学校が感染対策をしっかり考え、学校運営にきめ細やかな対応を取っていることに感謝したい。
- ・行事の掲示板や教室の掲示に工夫をしていることに感心した。
- ・教室の中に複数の教員が配置され、一人ひとりに寄り添った対応が行われていることが、子どもの笑顔にあらわれている
- ・体験学習（カヌー体験・自然教室・修学旅行・学校行事等）を通した子どもの成長は大きい。地域が協力できることはする。泥だらけの田植え、機械化が進む中でなぜという保護者の考えも取りいれながら、事業の意義を伝えていくことが大事。

### おらほの学校づくり協議会



- ・授業の様子や相撲大会の様子を見て、子どもたちが素直で元気に生活していることを嬉しく感じた。
- ・水泳の授業では、指導にあたる先生や監視をする先生の配置もあり学校側の配慮で安心感があつた。
- ・子どもの理解力への対応や、発言をしたいが取り上げられない児童へのフォロー面を今後より重視してほしい。
- ・いじめ対応では、より保護者や家庭との連携を密にし、家庭には、子どもを学校が守ってくれているという安心感を保ちながら解決に向けていってほしい。

- ・部活動の多様性に応えるのはいいことだが、団体競技の部員数が減少してしまうことにもつながる。
- ・子どもにきっかけをあたえるのは親。親の都合も少なからず影響している。
- ・ボランティア的指導者から公認指導者の時代へ変化。
- ・総合型スポーツ組織等の設立が課題になるだろう。
- ・地域がどうのこうのいうことのできない問題。行政からの対応策の提示をまちたい。

- ・地域指導者は、これまで学校との連携を大切にしながら子どものことを大切に考え、時には初めて顧問になる教員には指導法等を教えながらやってきた。地域移行になるにあたり、学校とどうかかわっていったらよいのか不安。
- ・地域指導者の抱える責任が重くなり、負担が一層増す。
- ・大会の運営に教員が関わらなくなると大会そのものができなくなる。
- ・地域格差のある中で、この政策が本当に効果あるものにするためには課題が大きい。
- ・子どもを優先し、自分たちの意識（学校にとらわれない）も変えていく必要がある。

### こうふく押切っ子協議会



### 三川中学校学校運営協議会

